

第15期開放講座

「水と街道」だより 《第1回》

発行：平成25年10月発行
発行元：国土交通省中部地方整備局
多治見砂防国道事務所
開放講座「水と街道」事務局
電話：0572-25-8020

【第1回 開催概要】

開講日時：平成25年9月12日(木) 10:00~15:45
内容(場所)：開講式、自己紹介、道路講座(当事務所)、道路現場見学(21号御嵩地区整備工事及び環境配慮型舗装)、地域づくり現場見学(虎溪山の里山づくり)

開講式(多治見砂防国道事務所)

第15期開放講座「水と街道」を開講いたしました。

本講座は、平成26年1月までに全5回(原則：毎月第2木曜日)開催し、この講座を通して当事務所における砂防及び道路事業について理解していただくこと。また当講座OB団体が、それぞれの地元で地域づくりに努力していますのでその取組みにふれていただき、みなさんの住んでいる地域を元気に、より活力のある地域を目指して力を発揮していただくことを目的に実施いたします。

(自己紹介をする第15期会員のみなさん)



(第15期開放講座の開講にあたり挨拶をする伊藤所長)

会員数19名のうち16名が出席

道路講座(多治見砂防国道事務所の取組みなど)

道路講座では、「暮らしを支える道路について」と題して、宮原調査設計長が講師となり、道路の役割、機能、歴史、道路事業の流れなどを説明しました。

講座の中では、「多治見砂防国道事務所の取組み」や「東日本大震災からの教訓」「東海・東南海・南海地震対策」についての説明もあり、皆さん熱心に耳を傾けていました。



道路講座の様子

道の駅「志野・織部」で環境配慮型舗装を体感-土岐市-



白い部分が環境配慮型舗装。手を当てて比べると温度差が体感できました。

道路現場見学(国道21号 御嵩地区整備工事見学)-可児郡御嵩町-

平成23年9月の台風15号により被災しました可児郡御嵩町次月(みたけちょうしづき)の道路工事の現場を見学しました。そこでは、道路の法面(のりめん)に深礎工(しんそこう)(コンクリート杭：直径3m、深さ約20m)を約3m間隔に8本設置して、崩れにくい道路にしました。

現在は、深礎工工事のスペース確保に必要であった盛土の撤去・整備、排水路の整備などの工事を行っています。

※法面・・・土を切取ったり、盛ったりしてつくられた人工的な傾斜面のこと。



見学中です



地域づくり現場見学(「水と街道」虎溪山の里山づくり)-多治見市-

当講座OBによる地域づくり団体「水と街道」虎溪山里山づくりの活動現場を見学しました。遊歩道の整備、シデコブシ公園づくりやしいたげづくりなどの活動について熱心な説明を受けました。



虎溪山の里山づくりのみなさんと